

本が灯になれば

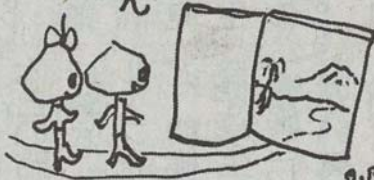
いまだに、どうしたらいいんだろうという気持ちでいっぱいです。地震を受けて、ある雑誌から「希望」というテーマの作品を依頼されましたが、気持ちを絵にするのが難しく、初めは何も書けなかった。こんなことは今まであ



絵本作家 荒井良二さん(54)

—東京都杉並区

本の
世界を
旅しよう！
それは、かんたん
だよ
本を開けば
いいんだよ



せしん井良二

り！ 2011年12

りませんでした。

被災した方たちが再び以前の生活に戻るには、長い時間がかかります。私は山形出身で、東北の「我慢強い」「何も言わない」気質をよく知っているからこそ心配です。息長く、被災地に入ったり絵本を書いたりして、その方たちの気持ちに入り込めたいいなと思っています。

絵本は、子どもたちのそばにあってほしいものの一つです。何もすることがないから、本でも読もうかという感じでいいんです。本には（読む人を）「呼ぶ力」があるのですよ。もし面白い本に出会えたら、その子の心のちっちゃな灯（ともしび）になるかもしれません。「本がそこにある」環境を整えてあげたいと思います。

【聞き手・反橋希美】